

県民の皆さんへ大切なお知らせ



新型コロナウイルスワクチン接種について

まもなく、**住民向けのワクチン接種がはじまります**（16歳以上の住民が対象）。4月中旬から、重症化リスクの高い**高齢者、基礎疾患のある方等の順**に進みます。ワクチンの接種にあたって知っていただきたいことを、わかりやすくお伝えします。



今回接種するワクチンとは

■ 発症を予防する効果があるワクチンです

- ✓ 現在、承認されているファイザー社のワクチンでは、接種した方は、接種していない方よりも発症が20分の1に抑えられること（発症予防効果95%）が分かっています。

■ 2回の接種が必要です

- ✓ 通常3週間あけて2回接種します。筋肉内に注射します。接種費用は無料です。

■ これまで安全性に重大な懸念は認められていません

- ✓ 副反応が生じる場合がありますが、重篤な副反応は少ないとされています。



接種対象の方には市町村からお知らせがあります

1 接種券が届く

対象の方へ、接種券や会場の案内が届きます

2 予約する

電話などで接種の予約をおこないます

3 接種する

接種券を持参し、予約した会場で接種します

▶ 接種までの手続きの詳しいことは、お住まいの市町村におたずねください



接種の前にやっていただきたいこと

■ 自分の健康状態を把握しましょう

- ✓ 熱はないか、具合の悪いところはないかなど、ご自身の体調をしっかりと把握しておきましょう。支援が必要な方には、ご家族の方の目配り・気配りをお願いします。

ココに
注目!

■ 接種に不安がある方は

- ✓ 治療中の病気がある方、過去に薬・注射や食品などで重いアレルギー症状を起こしたことがある方など接種に不安のある方は前もってかかりつけ医に相談してください。



接種後の「副反応」についても知っておきましょう

■ 副反応とは

- ✓ ワクチンを接種した後に、注射した部分の痛みや、だるさ、頭痛、発熱、筋肉・関節の痛みなどがみられることがあります。これらを「副反応」といいます。
- ✓ こうした症状は、起きたとしても接種後数日以内に回復することがほとんどです。
- ✓ 副反応は、きちんと免疫ができている反応のあらわれで、からだに病原体とたたかう準備をしている証拠ともいえます。

■ 「アナフィラキシー」とは

- ✓ 薬や食物が体に入ってから短時間で起こることのある、急性の重いアレルギー反応です。
※ 詳しくはQ&Aをご覧ください。

よくあるご質問から



Q アナフィラキシーとは何ですか？ どう備えればいいのですか？

A まれに接種後短時間で起きることのあるアレルギー反応で、じんま疹などの**皮膚症状**や、腹痛などの**消化器症状**、または息苦しさなどの**呼吸器症状**が急に起こります（血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合を「アナフィラキシーショック」と呼びます）。

米国では約1千万回中50例（**20万回あたり1例**）が報告されており、74%が接種後15分以内に、90%が30分以内に発生しています。

接種直後の**15～30分は経過観察が必要**です。接種会場や医療機関では、アナフィラキシーが起こってもすぐ対応できるように、医薬品などの準備をしています。

Q アレルギーのある人は接種してもいいのですか？

A 重いアレルギー反応を起こしたことがある方や、ワクチンや注射でアレルギー反応を起こしたことのある方は、**かかりつけ医に相談**してください。

それ以外の食品・経口医薬品、ペット、花粉などのアレルギーの場合は、接種することができます。

そのほか、接種への疑問や不安がある方は・・・

山梨県新型コロナワクチン専門相談ダイヤル 055-223-8878

- 土日祝日を含む毎日 8：30から20：30まで
- 専門的な知識を有する看護師、薬剤師などが相談に対応します。